

⑤ シルバー

てんどう

2013 第41号

平成25年1月1日発行

編集発行/
公益社団法人天童市シルバー人材センター
〒994-0013 山形県天童市老野森二丁目6番3号
天童市総合福祉センター2階
電話 (023) 654-7388 FAX (023) 652-0213
ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/tendo/>
メールアドレス tendo@sjc.ne.jp



「天童高原^{ムサシ}634の松」

撮影者：泉町班 山口太喜志

公益社団法人山形県シルバー人材センター一連合会

平成24年度 安全標語 最優秀受賞

気を抜くな！いくら慣れても 高齢者

乱川班 北條昌夫



さらなる飛躍の年に

理事長 菅野洋一

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、御家族とともに健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

当センターの平成二十四年度上半期の事業実績は、昨年度と比較して順調に推移しております。これもひとえに、関係機関及び市民の皆様の御支援と御理解の賜物とあらためて感謝申し上げます。

さて、当センターは、昨年四月

一日に社団法人から公益社団法人へ移行し、本年は、二年目を迎えます。これからも、公益法人として会員の経験と知識を活かし、就業を通して地域社会づくりに寄与するとともに、多様な社会参加活動に積極的に取り組み、皆様の信頼を得られるセンターを目指し、役員一同邁進してまいります。しかしながら、日本の経済はデ

フレの状態が続き、中国問題等もあり、一向に明るい兆しが見えてこない中、シルバー事業の運営にも影響が出てくるのではと憂慮しております。

また、少子高齢化が急激に進む中、団塊の世代の方々も高齢者の仲間入りする時代になり、ますますシルバー人材センターの役割が重要になると考えております。

このため、私達は、地域住民と高齢者のニーズに対し、その担い手として応えていかなければなりません。このように、シルバー人材セン

ターを取り巻く環境は厳しいものがありますが、基本理念の「自立・共働・共助」の精神のもと、会員の皆さんの英知を存分に発揮し、就業開拓、安全就業に努め、市民の皆様に愛され信頼されるセンターを築いていく所存です。

おわりに、各企業の発展と行政並びに市民の皆様のこれまで以上の御理解と御支援をお願い申し上げます。

今年も、良い年でありますよう皆様方の御健康と御多幸を祈念しまして、新年のあいさついたします。



新年のごあいさつ

天童市長 山本信治

新年あけましておめでとうございます。

天童市シルバー人材センターの皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

はじめに、昨年の天童市長選挙におきましては、無投票により再選をいただき、引き続き市政の重責を担わせていただくことになりました。

私は、市長就任時から、「子育て支援日本一」、「観光・ものづくり日本一」、「スポーツ・健康づくり日本一」を掲げ、全力で取り組んでまいりました。今後も慢心することなく、多くの方々の意見に耳を傾けながら、謙虚さを忘れずに市政運営にあたってまいりたいと考えております。

さて、我が国の経済情勢につきましては、世界景気の減速等を背

景とし、依然として厳しい状況が続いております。県内におきましても低調に推移しているのが現状であり、世界情勢への先行き不安感、閉塞感等から、景気の回復をいまだ実感できない現状にあります。

こうした状況の中、貴センターにおかれましては、会員の加入増に取り組みながら、高齢者の多様な就業機会の確保に努められるとともに、幅広い分野において活動

され、市民生活にかけがえのない存在として活動を広げていらっしやいます。このように事業の発展を遂げられましたのも、ひとえ

に会員並びに役員皆様方の御努力の賜物であり、心から敬意を表する次第であります。

今後とも、貴センターが担うべき役割はより一層大きく、また、幅広い分野に拡大していくものと考えております。「自立・共働・共助」の基本理念の下、地域社会に根ざしながら、より一層御発展されますことを強く期待しております。

結びに、貴センターの会員皆様、ますます御健康で御活躍されますことを祈念しまして、新年のあいさついたします。

当センターの事業について

当センターは、「公益社団法人」として事業の運営をしております。重点的に取り組んでいる課題について、ご紹介いたしますので、市民の皆様、事業所、行政の方々のご支援を今後ともお願い申し上げます。

一、就業機会を開拓します
新規受託先の開拓を進め契約金額を増加し、経営基盤の強化に努めます。

子育て支援事業では子育てサロン「のびのび」や「みどりのスクール」で子育てを応援します。

一般家庭の家事援助や高齢者に対する生活援助の需要にこたえるために、会員の育成を図ります。

高齢者軽度生活援助事業では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう実施している天童



市軽度生活援助事業に積極的に参加し高齢者の世帯の福祉向上と地域の貢献に努めます。

一般労働者派遣事業

では、これまでの請負契約で受注できない仕事へも参入し、就業機会の拡大を目指してまいります。

二、会員の増強を図ります

毎年高齢者人口の比率が上がっています。当センターでは、この数年間、会員数は横ばいの状態で推移しています。市報や広報誌を通して、高齢者の方々に呼びかけて、増員を図り、多様化する受注に対応していきます。

毎月、入会説明会を開催しておりますので、参加をお待ちしております。(予定日は六ページを参照ください)

三、社会参加活動を推進します

就業を通して、地域社会に参加している喜びと生きがいを得ることと、全国一斉に実施されるボランティア活動や、各地域班による地元での清掃活動などに参加して事業の普及啓発に努めます。



平成24年度（4月～10月）事業実績

会員数の現況

年齢階級	男性	女性	合計	構成比
60～64歳	47	39	86	14.3%
65～69歳	159	74	233	38.8%
70～74歳	136	60	196	32.7%
75歳以上	65	20	85	14.2%
合計	407	193	600	100.0%

平成24年10月末現在の会員数は600人（男性407人、女性193人）で、前年度末に比べ24人増加しました。

契約金額は、4月から10月までの累計金額1億4千5百万円で、前年同期と比べて約1,100万円の増額となりました。

農作業、除草、植木の手入れ等は前年並みですが、民間企業からの受注が回復傾向で、今期は前期実績の2億7百万円を上回ることを目標に、就業開拓に取り組んでいます。

月別契約金額の推移



会員の活動から

安全標語で 最優秀賞に輝く

安全・適正就業委員会は今期も重点目標として、会員が就業先での怪我や事故もなく就業してもらうために、定期的にパトロールを実施し無理な作業をしていないか、体調は悪くないのか、きめられた手順で仕事をしているかなどをチェックしています。また会員同士も、お互いに危険の芽を摘み取る事を心がけています。

毎年七月に安全就業に関する標語を募集して、全会員に安全・適正就業がいかに大切なことかを認識してもらっています。

昨年は多数の応募の中から厳選した数点を、山形県シルバー人材



センター連合会に送り、県内の各シルバーセンターからも応募された標語の中から、当センターの北條昌夫会員（乱川班）の作品、「気を抜くな！いくら慣れても高齢者」が最優秀賞に選ばれ、十月十一日（木）に県連合会の安全就業推進大会で表彰されました。

喜ばれ親しまれる 子育て支援を目指して

当センターは、「みどりのスクール」と子育てサロン「のびのび」の二つの子育て支援事業に取り組んでいます。

みどりのスクールでは、笹巻きや門松のつくりかたを体験できます。参加した小学生は、「ちゃんと作れたよ！」と、笑顔で話してくれました。地域の伝統と文化を伝え残すことで、心豊かな子どもの



育成を目指しています。

のびのびには、就学前のお子様とご家族に気軽に立ち寄っていただける部屋があります。月額一〇〇円で何回も利用できます。

ベテランの指導員が親子をやさしく見守り、育児相談、三時間以内の託児（一時間七七〇円）にも応じています。わくわく交流広場で遊んだり、クリスマス会などで親子が一緒に集うイベントも開催し、交流が深まっています。

のびのびは、昨年四月から健康センターや市民病院に近い場所に移転しました。初めての方もかんとんに利用できますので、どうぞお越しください。

子育てサロンのびのび
 ◆〒994-0046 天童市田鶴町三丁目3-29
 電話・FAX (023)654-0005

草取り、草刈りは シルバーにおまかせ

シルバー人材センターの仕事というと、庭の草取りを思い浮かべられる方が多いかと思えます。

除草作業には、手作業での「草取り」と、刈払機を使用した「草刈り」があります。どちらの作業も安全対策を十分に施し、お客様に喜んでいただけるよう心がけています。

これらの注文は、五月の連休明けから増え始め、夏本番の七月から八月にかけてピークとなります。加えて、暑さとの戦いでもあり、猛暑時は、草の勢いに追いつくことができません。

このため、お客様にはお待ちいただくこともありますが、事務局では、会員の安全と健康を第一に作業の手配をおこなっていますので、どうぞご理解うえ、ご注文くださるようお願いいたします。

最後に、草取りや草刈りを希望する会員が年々減少しています。除草作業は、シルバー人材センターならではの仕事と考えています。市内高齢者の皆さま、どうぞセンターに入会して、美しいまちづくりのために一緒に汗をかいてみませんか。



職場訪問

株式会社山形環境エンジニアリング

晩秋の十一月六日に、市老人保養センター「かまた荘」と市民いこいの家「ふれあい荘」を訪問しました。

どちらも家庭的で温かな雰囲気のある施設で、受付をしている会員がにこやかに迎えてくれました。両施設は、平成十八年度から、指定管理者の株式会社山形環境エンジニアリングによって運営されています。

就業会員は、かまた荘の九人、ふれあい荘の十一人で、共に受付・清掃・湯温



市民いこいの家「ふれあい荘」



市老人保養センター「かまた荘」

調整及び事務処理などの業務を交代で担当しています。

横山荘長は、「どちらの施設でも安心と安全をモットーに、当社のマニュアルに沿って就業していただいております。会員の皆さんの細やかな対応や真面目な仕事ぶりに心より感謝しております。」と笑顔で話されました。

会員からの感想として、「お客様とのちよつとした会話が楽しいです。」「皆様より色々なことを教えていただいたり、感謝されたりで有意義な日々を過ごしております。」という声がありました。会員が元気で就業していただきたいとの思いを抱きつつ、施設を後にしました。



新しい先輩方との出会い

乱川班 大泉 達子

私は、今まで進むべき道を標してくれた先輩方に支えられて、保育士として働いてきました。家庭では、子供達も自立し、これまで見守ってくれた舅・姑さんの介護、そして見送る立場となり、寂しさを感じていました。

そんな時に、シルバーの先輩より「子育て支援をやっているよ、これまでの生き方を活かせると思うよ」と声をかけていただき、その一言で入会しました。

子育てサロン「のびのび」を利用してお母様方より「楽しい所ね、また来ます」、「子供の成長が感じられます」などと言葉がけをいただくとうれしくなります。

核家族の多い今、子育て支援の大切さを改めて感じているところ。魔法使いのように色々な引き出しを持っている先輩方と一緒に関われる私は大変幸せです。これからも、ご指導を賜りながら活動して参りたいと思います。

会員からのたより

未経験の経験

東長岡班 沼田 健

ただ今の人生、植木班一年生。個人の経験を活かすということがセンターの趣旨なのに、なぜか私は経験なしの畑違い。

心地よい地下足袋はいて、炎天下に毛の無い頭にヘルメット、冬の寒さもなんのその、作業は自然との真つ向勝負、血圧・体重・血糖値、全て正常健康体。

「今使ったのに」と使用中の道具を探すは度々で、先輩の懸命の技術指導を受けるも返事は良いが理解はいまいち：情けない。

覚えの悪さに苛立ちながらも、これからの未経験の経験は「生き生きライフ」の挑戦です。



シルバー人材センター会員の知識と経験を活用してみませんか

こんな仕事を
引き受けています

シルバー人材センターは、請負のかたちで高齢者向けのお仕事を承ります。
お客様の指揮命令をとまなうお仕事には、一般労働者派遣で対応します。



●一般作業分野
草取り、草刈り、清掃、
果樹農作業など

●技能分野
植木手入れ・雪囲い、
障子・襖張り、門松製作など



●管理分野
駐輪場管理、
建物管理など



●事務分野
賞状筆耕、宛名書き、
受付、発送事務など



●サービス分野
家事援助、子育て支援、託児、
ごみ出し、除雪などの生活援助



●外交分野
ポスティング、調査事務、
広報配布など

会員を募集しています

入会できるのは……

- 天童市内にお住まいで原則60歳以上の方
- 臨時的な就業や
社会参加を希望する健康な方

※月1回開催する入会説明会にご参加ください。

入会説明会は……

- とき 1月16日(水) 2月15日(金)
- 3月15日(金) 4月16日(火)
- 5月15日(水) 午前10時～

○ところ 市総合福祉センター

お仕事のご依頼、お問い合わせは、天童市シルバー人材センターへ

TEL 023-654-7388 まで

<http://www.sjc.ne.jp/tendo/> または **天童市シルバー** **検索**



明けまして
おめでとーうございます



昨年、三十二年ぶりの大雪、夏の少雨や九月の厳しい残暑で作物の出来が心配でしたが、一部を除いて平年並みを確保し、ひと安心でした。

一昨年の震災、世界的な不況や紛争の影響で全体的に経済活動は活発ではありません。今年もまだまだ継続しそうです。

乱川班の北條会員の安全標語が県連合会で、最優秀賞を受賞しました。昨年当センターでの事故は減りましたが、ゼロではありませんでした。今年こそ、事故ゼロを目指して、会員一同安全を心がけて就業してまいります。

今年の干支巳年は成長し実を結ぶ縁起の良い年だそうであやかりたいものです。

この冬もこれからもっと厳しい寒さとなりますが、健康を維持するとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

広報委員会

- 奥村 弘次
- 庄司 豊子
- 奥原 秀穂
- 大木 亮司